

平成28事業年度

# 決算報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)



国立大学法人

東京医科歯科大学

**平成28事業年度 決算報告書**  
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	13,238	13,574	335	(注1)
施設整備費補助金	269	359	90	(注2)
補助金等収入	1,081	1,022	- 58	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	49	32	- 17	
自己収入	36,355	37,135	779	
授業料、入学料及び検定料収入	1,617	1,650	33	(注4)
附属病院収入	34,225	34,890	664	(注5)
雑収入	512	595	82	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,086	5,312	226	(注7)
引当金取崩	-	255	255	(注8)
長期借入金収入	1,290	1,256	- 33	(注9)
目的積立金取崩	-	60	60	(注10)
計	57,371	59,009	1,638	
支 出				
業務費	47,032	46,680	- 352	
教育研究経費	11,952	11,243	- 709	(注11)
診療経費	35,080	35,437	356	(注12)
施設整備費	1,608	1,648	39	(注13)
補助金等	1,081	1,022	- 58	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,086	5,317	231	(注15)
長期借入金償還金	2,844	2,828	- 16	(注16)
計	57,653	57,497	- 156	
収入 - 支出	- 282	1,512	1,794	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当等の特殊要因経費の追加配分があったことにより、予算額に比して決算額が335百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、施設整備費補助金の受入額が設計変更等により見込みを上回ったため、予算額に比して決算額が90百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、補助金等の受入額が見込みを下回ったため、予算額に比して決算額が58百万円少額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料収入の増により、予算額に比して決算額が33百万円多額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数の増加や差額室料の増加等による診療単価の増及び患者数の増等に伴う増収により、予算額に比して決算額が664百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主に財産貸付料等の増収に努めたことにより、予算額に比して決算額が82百万円を多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が226百万円多額となっております。
- (注8) 退職手当及び賞与の支払いに伴い、相当額について引当金を取り崩したことにより、255百万円を計上しております。
- (注9) 長期借入金収入については、設計変更等の理由により借入金額を変更したため、予算額に比して決算額が33百万円少額となっております。
- (注10) 目的積立金の取り崩しを行ったため、60百万円を計上しております。
- (注11) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと及び予算段階で予定していた教職員の増員を行わなかったこと等により、予算額に比して決算額が709百万円少額となっております。
- (注12) 診療経費については、(注5)で示した理由による附属病院収入の増収に伴う医薬品費・診療材料費等の増により、予算額に比して決算額が356百万円多額となっております。
- (注13) 施設整備費については、(注2)で示した理由により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっております。
- (注14) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が58百万円少額となっております。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が231百万円多額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、予算段階で予定されていた借入金返済利率が変更となったことにより、予算額に比して決算額が16百万円少額となっております。